

平成22年6月期 第1四半期決算短信

平成21年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 伏木海陸運送株式会社
 コード番号 9361 URL <http://www.fkk-toyama.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 清夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 吉川 辰彦

TEL 0766-45-1111

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年6月期第1四半期の連結業績(平成21年7月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年6月期第1四半期	2,331	△27.3	△50	—	△45	—	△37	—
21年6月期第1四半期	3,208	—	369	—	384	—	251	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年6月期第1四半期	△2.92	—
21年6月期第1四半期	19.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年6月期第1四半期	16,948	7,367	41.3	543.54
21年6月期	13,422	7,193	53.0	551.43

(参考) 自己資本 22年6月期第1四半期 7,007百万円 21年6月期 7,244百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年6月期	—	3.50	—	3.50	7.00
22年6月期	—				
22年6月期 (予想)		3.00	—	3.00	6.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年6月期の連結業績予想(平成21年7月1日～平成22年6月30日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	4,500	△26.5	120	△78.2	90	△83.3	50	△85.5	3.87
通期	10,000	△2.5	320	△6.2	280	△7.3	140	△33.0	10.85

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
新規 1社 (社名 チューゲキ株式会社) 除外 1社 (社名)
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- | | |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 無 |
| ② ①以外の変更 | 無 |
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年6月期第1四半期 | 13,077,000株 | 21年6月期 | 13,077,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年6月期第1四半期 | 184,985株 | 21年6月期 | 184,534株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年6月期第1四半期 | 12,892,015株 | 21年6月期第1四半期 | 12,935,836株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績の前提となる条件等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、輸出や生産に持ち直しの動きがみられるものの、企業収益が低迷するなかで、雇用情勢の悪化、設備投資の大幅減少など、先行きは依然不透明な状況となっております。

こうした経済情勢のもと、当社グループを取り巻く事業環境は、港湾運送等物流業界においては、依然として主力の港湾貨物の取扱いが大幅に減少し、取扱量は164万6千トンとなり前期比92万トン(△35.9%)の減少となり、引き続き厳しい状況が続いております。

このような環境下、当社グループは設備投資の圧縮と経費の削減に取り組んで参りましたが、当第1四半期の売上高は、23億3千1百万円(前年同期比27.3%の減収)、営業損失は5千万円(前年同期は3億6千9百万円の営業利益)、経常損失は4千5百万円(前年同期は3億8千4百万円の経常利益)、四半期純損失は3千7百万円(前年同期は2億5千1百万円の四半期純利益)となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりです。

[港運事業]

港運事業の売上は、荷動きの低迷により11億6千6百万円で前期比7億6千3百万円(△39.5%)の減収、営業利益は1千9百万円となり前期比3億7千7百万円(△95.2%)減益となりました。取扱量は89万2千トンで前期比53万5千トン(△37.5%)の大幅な減少となりました。主な輸移入貨物は、ウッドチップ、石炭、コンテナ貨物、オイルコークス、工業塩、原木・製材、アルミニウム・インゴット、鋼材、クローム鉱石等であります。輸移出貨物は、韓国、中国、東南アジア向けコンテナ貨物とロシア向け自動車・雑貨並びにスクラップ、パルプ等であります。

[通運事業]

通運事業の売上は、昨年大手製紙工場が閉鎖したことにより、JRコンテナの取扱いが大きく減少し、4千6百万円で前期比1億2千万円(△72.0%)の減収、営業損失は2千8百万円で前期比4百万円(△18.1%)営業損失が増加となりました。取扱量も4千トンで前期比2万6千トン(△85.6%)の減少となりました。主な取扱貨物は、コンテナ貨物等であります。

[倉庫業]

倉庫業の売上は、8千2百万円で前期比1百万円(△1.1%)の減収、営業利益は1千4百万円で前期比1百万円(△9.9%)の減益となりました。取扱量は11万5千トンで前期比3万2千トン(△21.8%)の減少となりました。主な保管貨物は、オイルコークス・ダスト、巻取紙、製材・集成材、化学薬品、合金鉄、化成品、その他の輸出入品であります。

[貨物自動車運送業]

貨物自動車運送業の売上は、工場稼働率の低下によりウッドチップ、石炭等の輸送量が減少し、5億2千2百万円で前期比1億2千万円(△18.8%)の減収、営業利益は6百万円で前期比2千9百万円(△81.2%)減益となりました。取扱量は、63万3千トンで前期比32万6千トン(△34.0%)の減少となりました。主な輸送貨物は、ウッドチップ、国際海上コンテナ貨物、炭材、アルミニウム・インゴット、工業塩、石膏、合金鉄、原木・製材、タイヤチップ等であります。

[ローリー運送事業]

ローリー運送事業の売上は、企業の生産活動の低下に伴う軽油・重油の出荷量の落ち込みにより1億4千9百万円で前期比9千8百万円(△39.7%)の減収、営業損失は1千9百万円で前期比1千6百万円営業損失の増加となりました。

[不動産貸付業]

不動産貸付業は、新たに連結子会社となったチューゲキ株式会社の売上が寄与したことにより、売上9千万円で前期比7千9百万円の増収、営業利益は3千5百万円で前期比3千5百万円の増益となりました。

[その他事業]

その他事業の売上は、4億3千6百万円で前期比8千9百万円(25.7%)の増収となりましたが営業損失は8百万円で前期比3千5百万円の減益となりました、これは主に旅行部門の減収によるものです。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期の財政状態は、前連結会計年度末と比較して、資産は35億2千6百万円増加、負債は33億5千1百万円の増加、純資産は1億7千4百万円増加いたしました。

資産・負債・純資産の増加はチューゲキ(株)が新たに連結子会社に含まれたことなどによります。

資産の増加の主な要因は、建物及び構築物が6億9千5百万円、土地が26億7千5百万円増加したことなどです。

負債の増加の主な要因は、長期借入金が14億1百万円、預り保証金が8億4千8百万円、短期借入金が4億1千5百万円増加したことなどです。

純資産の増加の主な要因は、利益剰余金が8千3百万円減少し、少数株主持分が2億7千6百万円増加したことなどです。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失となったものの、減価償却費及び売上債権の減少などにより、当第1四半期は、8千1百万円の収入超過となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、子会社の株式の取得による支出等により4億1千2百万円の支出超過となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは短・長期借入金の純増、親会社による配当金の支払等により3億8千2百万円の収入超過となりました。

これらの結果、当第1四半期における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して5千万円増加し、当第1四半期残高は4億5千8百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期までの業績は、概ね期首予想に沿って進捗しており、平成21年8月13日に公表しました通期業績予想を据え置いております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

チューゲキ株式会社について、株式を取得したことにより、当連結会計期間から連結子会社に含めることとしました。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	590,705	477,841
受取手形及び売掛金	1,295,199	1,346,861
たな卸資産	45,402	13,684
繰延税金資産	57,215	12,925
その他流動資産	236,819	256,854
貸倒引当金	△11,252	△257
流動資産合計	2,214,089	2,107,908
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,869,945	5,111,713
減価償却累計額	△3,388,783	△3,325,810
建物及び構築物(純額)	2,481,162	1,785,902
機械装置及び運搬具	4,089,240	4,119,015
減価償却累計額	△3,335,835	△3,316,258
機械装置及び運搬具(純額)	753,405	802,757
土地	7,740,250	5,064,835
その他有形固定資産	474,449	464,920
減価償却累計額	△398,869	△393,118
その他有形固定資産(純額)	75,580	71,801
有形固定資産合計	11,050,398	7,725,297
無形固定資産		
その他無形固定資産	59,498	64,573
無形固定資産合計	59,498	64,573
投資その他の資産		
投資有価証券	2,013,534	2,010,128
長期貸付金	739,950	726,168
繰延税金資産	342,039	320,546
その他長期資産	537,243	467,917
貸倒引当金	△8,250	△137
投資その他の資産合計	3,624,517	3,524,623
固定資産合計	14,734,414	11,314,494
資産合計	16,948,504	13,422,403

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	581,470	432,902
短期借入金	1,240,315	824,586
1年内返済予定の長期借入金	1,282,373	959,204
未払金	46,129	41,055
未払法人税等	101,486	14,199
未払消費税等	36,715	44,712
賞与引当金	146,598	28,718
役員賞与引当金	—	22,930
その他流動負債	226,272	606,541
流動負債合計	3,661,360	2,974,849
固定負債		
長期借入金	3,053,436	1,975,041
繰延税金負債	391,170	—
社債	100,000	—
退職給付引当金	1,081,024	1,022,535
役員退職慰労引当金	263,406	229,084
負ののれん	165,945	—
長期預り保証金	848,132	—
その他固定負債	16,591	27,746
固定負債合計	5,919,706	3,254,407
負債合計	9,581,067	6,229,256
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,850,500	1,850,500
資本剰余金	1,367,507	1,367,513
利益剰余金	3,615,473	3,698,543
自己株式	△48,409	△48,301
株主資本合計	6,785,070	6,868,254
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	222,233	241,006
評価・換算差額等合計	222,233	241,006
少数株主持分	360,133	83,885
純資産合計	7,367,437	7,193,146
負債純資産合計	16,948,504	13,422,403

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
売上高	3,208,561	2,331,294
売上原価	2,654,691	2,145,369
売上総利益	553,869	185,925
販売費及び一般管理費		
役員報酬	31,475	33,666
給料及び手当	44,681	58,825
賞与引当金繰入額	13,094	12,497
退職給付引当金繰入額	6,512	6,399
その他の人件費	14,153	17,375
減価償却費	4,985	19,732
その他一般管理費	69,133	87,685
販売費及び一般管理費合計	184,037	236,182
営業利益又は営業損失(△)	369,832	△50,256
営業外収益		
受取利息	258	2,933
受取配当金	56	29,065
持分法による投資利益	28,211	—
雑収入	4,061	17,167
営業外収益合計	32,588	49,167
営業外費用		
支払利息	17,833	29,477
持分法による投資損失	—	11,810
雑支出	78	3,148
営業外費用合計	17,911	44,436
経常利益又は経常損失(△)	384,508	△45,525
特別利益		
固定資産売却益	901	3,844
貸倒引当金戻入額	23,700	6,355
その他特別利益	—	6,159
特別利益合計	24,601	16,359
特別損失		
固定資産売却損	2,449	—
固定資産除却損	3,953	92
投資有価証券評価損	669	—
投資有価証券売却損	835	—
その他特別損失	—	137
特別損失合計	7,906	229
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	401,203	△29,396
法人税、住民税及び事業税	199,270	59,975
法人税等調整額	△51,609	△57,389

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
法人税等合計	147,660	2,586
少数株主利益	2,018	5,608
四半期純利益又は四半期純損失(△)	251,524	△37,590

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	401,203	△29,396
減価償却費	115,295	127,018
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△23,106	△5,670
賞与引当金の増減額(△は減少)	123,415	114,841
退職給付引当金の増減額(△は減少)	8,997	32,412
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,660	△1,128
未払費用の増減額(△は減少)	△263,667	△258,190
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△19,600	△7,247
受取利息及び受取配当金	△315	△31,999
支払利息	17,833	29,477
持分法による投資損益(△は益)	△28,211	11,810
有形固定資産売却損益(△は益)	1,547	△3,844
有形固定資産除却損	3,953	92
投資有価証券売却損益(△は益)	835	—
投資有価証券評価損益(△は益)	669	—
売上債権の増減額(△は増加)	△181,282	138,903
たな卸資産の増減額(△は増加)	△162	4,400
仕入債務の増減額(△は減少)	120,060	△39,372
未払消費税等の増減額(△は減少)	12,880	△13,947
その他	△60,266	23,022
小計	232,741	91,181
利息及び配当金の受取額	311	31,087
利息の支払額	△20,593	△32,212
法人税等の支払額	△285,692	△8,769
営業活動によるキャッシュ・フロー	△73,232	81,287
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△62,300	△62,100
定期預金の払戻による収入	28,600	32,900
有形固定資産の取得による支出	△38,328	△29,623
有形固定資産の売却による収入	1,108	3,844
無形固定資産の取得による支出	△40,000	—
子会社株式の取得による支出	—	△271,617
投資有価証券の取得による支出	824	△6,821
投資有価証券の売却による収入	13,162	—
短期貸付金の増減額(△は増加)	△5,278	△6,641
長期貸付けによる支出	△21,000	△17,000
長期貸付金の回収による収入	1,041	3,217
その他	△4,777	△58,960
投資活動によるキャッシュ・フロー	△126,949	△412,802

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	305,697	267,829
長期借入れによる収入	200,000	430,000
長期借入金の返済による支出	△275,465	△269,962
自己株式の取得による支出	△21,354	△107
配当金の支払額	△52,236	△45,479
財務活動によるキャッシュ・フロー	156,640	382,280
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△43,541	50,764
現金及び現金同等物の期首残高	475,992	408,130
現金及び現金同等物の四半期末残高	432,451	458,894

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)

	港運事業 (千円)	通運事業 (千円)	倉庫業 (千円)	貨物自動車 運送業 (千円)	ローリー 運送事業 (千円)	不動産 貸付業 (千円)	その他 事業 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高										
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,926,347	167,089	82,712	547,847	192,287	6,476	285,800	3,208,561	—	3,208,561
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	3,561	36	763	95,246	55,002	4,215	61,671	220,497	(220,497)	—
計	1,929,909	167,125	83,475	643,094	247,290	10,692	347,471	3,429,058	(220,497)	3,208,561
営業利益又は 営業損失(△)	396,178	△23,711	16,472	36,480	△2,794	303	27,079	450,007	(80,175)	369,832

(注) 1 事業区分の方法は、当社及び連結子会社が採用している売上集計区分を勘案して区分しました。

2 事業区分に属する主な内容

事業区分	主な事業内容
港運事業	港湾運送事業、通関事業、船舶代理店
通運事業	J R コンテナ輸送
倉庫業	貨物保管事業
貨物自動車運送業	貨物自動車事業
ローリー運送事業	貨物自動車事業(ローリー輸送)
不動産貸付業	土地建物の賃貸
その他事業	網取放業務、商事部門、旅行部門

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

	港運事業 (千円)	通運事業 (千円)	倉庫業 (千円)	貨物自動車 運送業 (千円)	ローリー 運送事業 (千円)	不動産 貸付業 (千円)	その他 事業 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高										
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,165,319	46,590	81,811	435,501	143,324	86,588	372,159	2,331,294	—	2,331,294
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,517	141	763	86,796	5,870	3,585	64,797	163,471	(163,471)	—
計	1,166,836	46,731	82,574	522,297	149,195	90,173	436,957	2,494,765	(163,471)	2,331,294
営業利益又は 営業損失(△)	19,042	△28,009	14,845	6,842	△19,292	35,516	△8,742	20,204	(70,461)	△50,256

(注) 1 事業区分の方法は、当社及び連結子会社が採用している売上集計区分を勘案して区分しました。

2 事業区分に属する主な内容

事業区分	主な事業内容
港運事業	港湾運送事業、通関事業、船舶代理店
通運事業	J R コンテナ輸送
倉庫業	貨物保管事業
貨物自動車運送業	貨物自動車事業
ローリー運送事業	貨物自動車事業(ローリー輸送)
不動産貸付業	土地建物の賃貸
その他事業	網取放業務、商事部門、旅行部門

3 当第1四半期連結会計期間にチューゲキ(株)の株式を取得したことにより、不動産貸付業における資産が前連結会計年度末に比べ増加しております。

総資産 3,375,281 千円

有形固定資産 3,231,697 千円

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間において在外子会社及び在外支店はありません。

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間において、海外営業収益がないため、記載しておりません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。